

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

10 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（8 月 22 日～10 月 16 日）

生協名	生活協同組合コープみらい
報告者	本多 達

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
8 月 24 日	ヒロシマ・ナガサキ平和の旅 体験報告交流会 	8 月 24 日（土）コーププラザ秋葉原にてヒロシマ・ナガサキ平和の旅体験報告交流会が開催され、24 人が参加しました。平和へのみんなの想いや願いをひとつにして次の平和の旅につなげるために模造紙の作成と、子ども平和新聞を作成いたしました。また、旅の参加者が学んだことを直接見聞し、ブロックの活動に生かすこと、つながり作りを目的に 7 人のブロック委員の参加がありました。
8 月 31 日	埼玉県九都県市防災訓練 	8 月 31 日（日）九都県市合同防災訓練埼玉県会場（和光市樹林公園）で防災訓練・防災フェアが開催され、埼玉県生協連（会員生協）と一緒に展示ブースにて出展し、ローリングストックの啓発と防災クイズをおこない松本和光市長にも参加いただきました。
9 月 10 日 ～13 日	9 月総代懇談会 	埼玉エリア 8 ブロックにて、9 月総代懇談会を開催しました。2019 年度埼玉エリアでは、総代 405 人中 368 人が出席し（出席率 90.9%）、総代の役割や通常総代会までに開催する 11 月、3 月、5 月ブロック別総代会議の位置づけやコープみらいの理念・ビジョンなどをお伝えし、理解できた、だいたい理解できた合わせて 99.5%のご理解をいただきました。
9 月 18 日	くらし 1 学習会 	「参加とネットワークの 2019 年度方針」にある、「くらし」「国内の貧困・格差問題、奨学金制度」について、ブロック委員の参加を中心に学びを広げるための学習会を開催しました。貧困をはじめとする子どもを取り巻く問題の現状を学び、できる事を考えていく最初の一步となりました。
9 月 25 日	新任ブロック委員 フォローアップ研修 	9/25 コーププラザ浦和にて「新任ブロック委員フォローアップ研修」が開催され、新任ブロック委員 23 人を含む 33 人が参加しました。第 1 部では半年の活動を振り返って、嬉しかったこと、大変だったことを交流した後これからやってみたいことを出し合いました。第 2 部では「4 つのプロジェクト」の食材を使ったクッキングと実際に食べておいしさを実感しました。
10 月 3 日	立教大学寄附講座 	10/3 立教大学寄附講座第 2 回を行い、21 人が出席しました。大山埼玉県本部長、駒形理事、関野理事、佐竹理事がコープみらいの事業と活動について講義しました。グループワークではくらしの課題である「子育て」「環境」「防災」について自分達がやってみたいことを話し合ってもらい、今すぐに使えるようなアイデアが出されていました。

(2) 社会貢献やCSR活動等

- ・9月度「美ら島応援もずくプロジェクト」の取組みを通して、「美ら島応援基金」に1,249,563円を寄付しました。
- ・10月18日までの期間、「台風第15号被害 緊急支援募金」を取組みます。
- ・11月15日まで（宅配）・17日まで（店舗）の期間、「台風第19号被害緊急

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

--

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
10月20日	コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ	
10月30日	テーマ学習会②「くらし豊かに（商品政策）」	ブロック委員等130人
11月9日	（農）埼玉産直センター収穫祭	
11月12日～ 11月15日、17日	11月ブロック別総代会議	埼玉エリア総代405人
11月17日	コープみらいプラザまつり in 浦和	南部ブロック
12月1日	コープみらいプラザまつり in 川越	西北ブロック
12月7日	コープみらいプラザまつり in 大宮	中部ブロック

(5) 組合員拡大 9月20日現在

9月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
15,916	14,581	1,335	116,883	65,198	51,685	3,522,246

(6) 組合員組織状況 10月20日現在

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数(地域クラブ)	428(4,534人)
支部・運営委員会数	8ブロック (埼玉エリア)	支部・運営員数	112人 (ブロック委員)

2. 事業報告 9月20日現在

9月度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
33,768,975千円	101.59%	194,917,480千円	99.7%

1. 機関運営

- (1) 9月総代懇談会・11月・3月・5月ブロック別総代会議は総代の協議・事業活動に対して理解が深まる運営に努めます。あわせて総代から寄せられた声は丁寧に対応するとともに、潜在したニーズの把握にも努めます。
- (2) 2019年度総代選出は、様々な方と日ごろのつながりを積み上げていく中で総代を担っていただきたい方を選出します。
- (3) 総代懇談会や総代会議で事業・活動・政策に対し、総代から寄せられた声も参考に施設・産地見学、学習会を実施します。あわせて、総代と総代、総代とブロック委員(会)とのコミュニケーションを強めることを大切にして取り組みます。

2. 組織運営

「活動をすすめるうえで大切にすること」を共有し、その目的を実現するための支援を行います。

3. 参加とネットワーク推進

- (1) 「食」 食を健康な生活の中心ととらえ、商品をまんなかにして交流する「商品コミュニケーション」を通じて、食育「たべる、たいせつ」を推進していきます。
- 健康をはぐくむ食育「たべる、たいせつ」を推進するために、商品コミュニケーションに取り組みます。
- コープの商品のよさを実感できる学びや試す機会を作ります。共通の商品の取り組みなど事業とも連携をしながら進めていきます。
- 食の安全・安心やフードチェーン、産直(農産・畜産・水産)の取り組み、商品の観点からのエシカル消費(倫理的消費)など、地域で体験や学びの機会を作ります。
- (2) 「くらし」 くらしをとりまき多様な課題と持続可能な未来をつつめ、学びあい、共感し多様な活動に取り組みます。
- 安心して子育てができる学習会や子育てひろばなど交流の場への参加を広げます。
- 高齢者をとりまき課題や地域社会づくりに学びながら、無理なくできることに取り組みます。
- 環境に関する課題や環境政策について学び、地域や家庭でできる「コープのエコ活」「エコたんけん隊」「秋の森の各種企画」「自治体の環境展」などの取り組みを進めます。環境の視点からのエシカル消費(倫理的消費)や地球温暖化、エネルギー問題などについて学び理解を深めます。
- 平和の大切さを次世代に継承するために平和の学習や学習会など「知り、学び、伝える」機会を広げるとともに、埼玉県原爆死没者慰霊式の参加、平和のための埼玉の戦争展に協力します。2020年NPT再検討会議にむけてヒバクシャ国際署名に継続して取り組みます。
- また、ユニセフをはじめとする諸団体と連携し、世界の食料不足・貧困などの課題に目をむけ学習会や募金活動などに取り組みます。
- 防災・減災について災害の教訓を活かし、備えなど含めて知恵の交流や行政の防災訓練に参加します。地域の状況と自らのくらし

1. 機関運営

- (1) 5月ブロック別総代会議は、総代総数402人に対して、出席331人(出席率82.3%)、理解できた44.4%、だいたい理解できた54.1%でした。あわせて、5月ブロック別総代会議で寄せられた声に対して丁寧な対応を進め、第7回通常総代会では全議案賛成多数で可決承認されました。
- 総代選出はブロック委員会、理事、県本部が考え方と進め方を丁寧な共有して取り組んだ結果、定数406人の選出ができました。
- (3) 総代の施設・産地見学、学習会は昨年の振り返りと今年の開催目的をブロック委員会と共有し具体化にむけて話し合いました。

2. 組織運営

「活動をすすめるうえで大切にすること」を共有し、その目的を実現するための支援を行いました。

3. 参加とネットワーク推進

- (1) 「食」 ①「みんなでおためし!〜海のエシカル〜」の取り組みを83カ所のみらいひろばで開催しました。あわせてプラザまつりでは試食や展示で海のエシカルをお知らせしました。
- ②「田んぼの教室」「畑のがっこう」を開催し各企画合わせて205人が参加しました。また新任ブロック委員を中心に「産直センター交流会」を埼玉産直センターで開催し学びと交流を深めました。
- ③産地工場見学会は20回749人、商品学習交流会は23回558人、商品グループ見学会は2回43人でした。
- (2) 「くらし」 ①子育てサポーター募集説明会を8つのブロック9会場で開催。260人が参加し60人の登録となりました。子育てひろば(19会場)には組1,703人(7月時点)、地域子育て支援拠点事業(4会場)には1,631組3,981人(7月時点)が参加しました。また子育てひろば、組合員活動上の託児の現状を理事、委員長と共有しました。さいたま市の子育てヘルパー派遣事業を受託しました。
- ②認知症サポーター養成講座の運営参加、「いきいき百歳体操」の普及活動など各ブロックで多彩に取組みました。「地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議」に継続参加し、県内の自治体、社協、企業とつながりをつくってききました。
- ③「エコたんけん隊」は19会場329人、ブロック企画を含む「秋の森」9回239人が参加しました。また鶴ヶ島市の環境展にボスター展示をいたしました。
- ④平和の取り組みは「オキナワ・ヒロシマ・ナガサキ平和の旗」について事前・体験報告交流会を開催し平和の大切さを学びました。また埼玉県原爆死没者慰霊式、平和のための埼玉の戦争展に協力しました。2020年NPT再検討会議にむけての学習やヒバクシャ国際署名に継続して取り組みました。
- 埼玉県ユニセフ協会と北部ブロックが共催し「第14回ユニセフクラブウォーク in 東海」を開催し148人が参加しました。
- ⑤九都県市合同防災訓練・埼玉県会場は東北ブロック、さいたま市会場は南部ブロックが参加しました。また西部ブロックは埼玉県防災学習センター見学を開催し、防災・減災を学ぶ、疑似体験をとおして学びました。

1. 機関運営

- (1) 9月総代懇談会・11月・3月・5月ブロック別総代会議は総代の役割、生協の取り組み、議案の理解がすすむように努めます。あわせて総代から寄せられた声は丁寧に対応するとともに、潜在したニーズの把握にも努めます。
- (2) 2020年度総代選出に向けて、幅広い年代・様々な層からの選出をめざし年間を通して取り組みます。
- (3) 4ブロックで施設・産地見学、4ブロックで学習会を計画しました。より多くの総代が参加できるよう工夫して取り組みます。

2. 組織運営

「活動をすすめるうえで大切にすること」を共有し、その目的を実現するための支援を行います。

3. 参加とネットワーク推進

- (1) 「食」 ①「みんなでおためし!〜海のエシカル〜」をはじめ、さらにステップ、ユニーデリアミールキット、産直けん気鶏の学習・試食を事業との連携も視野にすすめます。
- ②「田んぼの教室」「畑のがっこう」は運営面など来年度開催にむけての課題を明確にし話し合います。また引継ぎ、産地工場見学、商品学習交流会、商品グループインタビューに取り組みます。
- ③テーマ学習は、商品政策「くらし豊かに2019」を学びます。
- (2) 「くらし」 ①親子一緒に、託児付き、子ども対象など様々な参加形態の企画や学習会を開催します。地方、子育てひろば、組合員活動上の託児の現状と課題、今後についてを組合員組織と協議します。
- ②高齢者をとりまき課題や地域社会づくりに学びながら、無理なくできることに取り組みます。
- ③「秋の森の森の各種企画」に取り組みます。地球環境の保全活動、生物多様性、「エシカル消費」などを学び、持続可能な社会づくりに進めます。
- ④平和の旅参加者による報告会、ヒバクシャ国際署名に取組みます。またユニセフは、支援する意義を理解するためのテーマ学習を開催し、「お年玉・一般募金」「ハンド・イン・ハンド募金」の取り組みにつなげます。
- ⑤行政の防災訓練の参加などをとおして、防災・減災への意識と知恵の交流を広げます。
- ⑥消費者課題の学習をとおして消費者教育や消費者被害の防止に努め消費者リーダーの育成に取り組みます。
- ⑦国内の貧困・格差問題は継続的に学びます。フードドライブは常設箇所を増やすこと、食料を必要としている方に届きやすくする取り組みを検討します。
- ⑧ミニハートは「コープみらいのたすけあいの組織の話し合い」で協議を続け、持続可能なコープみらいのたすけあいの組織の理解を深めます。
- (3) 「つながり」 ①男性や認知症の方でも安心して気軽に参加できる「サロン」や「カフェ」を自治体や他団体などの協力も得ながら開催します。
- ②「みらいひろば」をさらに広げるための話し合いをブロック委員長会

- に目をむけ、必要なことを考えあいます。
- ⑥ 消費者課題の学習会で得た学びをブロック企画やみらいひろばなどで生かします。また、地域の消費者リーダー育成のために「消費者被害をなくす会」の「消費者被害防止サポーター養成講座」開催に協力します。
- ⑦ 国内の貧困・格差問題は継続的に学びます。フードドライブは常設箇所を増やしますこと、食料を必要としている方に届きやすくする取り組みを検討します。
- ⑧ ミニハートは増えている「高齢者」への援助、地域差への対応、組織づくりを重点に取り組めます。今後ともさらに地域の中で助け合いの輪が広がるように、たすけあいの組織についての理解や共有を深めていきます。
- (3) 「つながり」 多様な参加と豊かなネットワークづくりを大切にしたい。人と人とのつながりがあたたかい地域社会の実現をめざします。
- ① 認知症の方やその家族などでも気軽に参加できる「サロン」や「カフェ」を自治体や他団体などの協力も得ながら開催します。
- ② みらいひろばはエディターと一緒に参加者（メンバー）の声を大切にしながらか開催します。ブロック委員会でみらいひろばの共有は大切に、今後の広がりにつなげます。
- ③ コープみらいカレッジは、地域のニーズをもとに組合員どうしのつながりやエディターのつながりをつなげます。
- ④ 自治体訪問は重点自治体を中心に訪問します。地域やブロックの状況を考え、協力（して）できていることに取り組めます。また地域の社会福祉協議会や地域包括支援センターと協同し、地域社会との取り組みやきき・くらしと地域づくり活動助成」団体との交流やつながりづくりを進めます。
- ⑤ 「地域かがやき賞・くらしと地域づくり活動助成」団体との交流「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」「コープみらいプラザまつり」は地域へのお知らせとつながりを実践します。
- ⑦ 「地域コミュニティと生協」をテーマに立教大学（新座キャンパス）での寄附講座を継続します。
- ⑧ 地域クラブにはブロック委員会とのつながりを大切にしつつ、自主的な活動が広がるようサポートします。
- ⑨ 被災地・被災者支援については、「忘れない、伝える、続ける、つなげる」を大切にして、求められていることを支援につなげます。
- (4) 活動を支えるしくみと運営 参加とネットワークの活動を推進する組合員組織づくりと、ニーズや期待に対応するしくみづくりを進めます。
- ① 組合員ニーズ、地域ニーズをつかみブロック委員会の状況に応じた運営・支援を行います。
- ② 就任歴や役割に応じた知識・スキルを習得する学習会や研修などを計画します。またブロックを越えた交流の場として「他ブロック見学」「ブロック委員全体交流会」を計画します。
- ③ コープみらい活動サポーターの取り組みを通じて地域の学びの支援を広げます。

- ⑤ 6月の消費者月間にあわせ、みらいひろばでは、消費者被害の事例と対応策について交流しました。また埼玉県消費者大会ブレ学習会、消費者団体全体研修への参加など、継続的な消費者課題の学習がすすみました。
- ⑦ 「子どもの未来アクション」の取り組みに賛同しブロック委員会やみらいひろばなどで貧困をはじめとする子ども問題を学び考え、共感の輪を広げました。またネットワーク推進会議で「子どもの未来アクション 埼玉県版学習会」を実施しました。フードドライブはコーププラザと2店舗常設に加え、プラザまつりでも取り組み582 kgの提供がありました。7/25 子ども食堂等を運営するNPO法人このまちで暮らす会のイベントに子ども用お菓子を提供しました。
- ⑨ ミニハートは援助活動6,487時間のうち、高齢者は1,249時間75.2%を占めました。またミニハート全体交流会は117人が参加しました。「コープみらいのたすけあいの組織の話し合い」では「たすけあいの組織の2022年の姿について(案)」を協議し、エリア・地域コープエディターとも共有をすすめました。
- (3) 「つながり」
- ① 認知症の方やその家族の居場所として、西南ブロックは地域包括支援センターと共催で「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催しました。
- ② みらいひろばは85会場316回1,798人（ブロック委員を除く）が参加しました。またエディターは全ブロックあわせて23人の登録となりました。
- ③ コープみらいカレッジ川越キャンパスは生徒22人で開校し、15人が卒業しました。また北部ブロックは深谷キャンパスを開校、東南ブロックは越谷キャンパスの開校を計画しました。
- ④ 自治体訪問を取組むにあたり理事、正副委員長と目的の確認とエリア、ブロックの重点自治体を共有しました。8月下旬ブロック委員会は、役職員と具体的なすすめ方を話し合いました。
- ⑤ 4/13「コープみらい埼玉エリア社会貢献活動助成金活動交流会」は84人の参加があり団体や組合員との交流を深めました。
- ⑥ 「コープみらいプラザまつり」は春日部、越谷、富士見、所沢、深谷で開催し1,200人の来場がありました。また「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」成功に向けて5月に同時開催団体連絡会を立ち上げ準備をはじめました。
- ⑦ 立教大学（新座キャンパス）での寄附講座は全14回の日程、講師テーマ、講師を決めました。第12回は組合員活動に関わるテーマとし、組合員理事、ブロック委員も講師を担うこととしました。
- ⑧ 地域クラブは登録426団体で4,396人（うち組合員3,264人）でした。「ふれあい食事会」は19回・423人、「ふれあい喫茶」は34回・959人で開催しました。
- ⑨ 「被災地にお菓子をお届けよう」に取り組みメッセージとともに4つの被災地協へのべ800人分（6・8月）のお菓子を届けました。また「たばおしゃりサロン」に隔月でお菓子等の提供を続けました。
- (4) 活動を支えるしくみと運営 参加とネットワークの活動を推進する組合員組織づくりと、ニーズや期待に対応するしくみづくりを進めます。
- ① 「私たちのブロックで取り組みたいこと2019」にそって活動をすすめました。また新任ブロック委員と面談を行い悩みなどがあれば一緒に考えながらすすめました。

- やネットワーク推進会議などです。またエディター（世話人）やエディター会議の事例を積極的に発信し、エリアで共有します。
- ③ エリア開催のコープみらいカレッジを検討します。あわせて深谷キャンパス、越谷キャンパスはブロック委員会の主体性を大切にしてすすめます。
- ④ 地域の状況と自治体ニーズを事前にキャッチし、事業と活動の中で「私たちにできること」を具体的に提案します。あわせて、提案実現に関わる自治体の部署とつながりをつくり、継続的に話し合います。
- ⑤ 「地域かがやき賞・くらしと地域づくり活動助成」団体の選出に取り組めます。
- ⑥ コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ、コープみらいプラザまつり（浦和・川越・大宮）に取り組み、地域社会とのつながりを広げます。
- ⑦ 「地域コミュニティと生協」をテーマに、立教大学（新座キャンパス）での寄附講座を開催します。
- ⑧ 訪問や広報など積極的な地域クラブの活動紹介を通して、ブロック委員会、他の地域クラブとつながりをつくり、組合員の自主的な活動を広げます。
- ⑨ 被災地で暮らす方々の状況を知り、継続したサロン活動を応援するために「被災地にお菓子をお届けよう」に取り組めます。
- (4) 活動を支えるしくみと運営 参加とネットワークの活動を推進する組合員組織づくりと、ニーズや期待に対応するしくみづくりを進めます。
- ① 「活動を進めるうえで大切にすること」を大切にすすめます。また理事、委員長と次年度体制を共有し計画的にすすめます。
- ② 上期に開催した研修・学習会の有効性を検証し次年度につなげます。また「新任ブロック委員フォローアップ研修」「ブロック委員全体交流会」は大切にしたいことを丁寧に話し合いながら開催します。
- ③ コープみらい活動サポーターは出席授業をはじめ、コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナの出展を計画します。

	<p>②2年以上のブロック委員を対象に「就任年個別モチベーションアップ研修」、新任ブロック委員を対象に「新任ブロック委員研修」を開催しました。また6月に「他ブロック見学」、テーマ学習会①『『地域コミュニケーションづくり』を学ぶ』を開催し、たくさんの気づきが得られました。</p> <p>③活動サポーターは4人でスタートし、小学校など5つの会場で出前授業を行い、336人が受講しました。</p>	
--	--	--

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連様）



9 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（8 月 19 日～9 月 30 日）

生協名	パルシステム埼玉
報告者	石川 誠

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
8/21 (土)	夏休み親子計量教室 	7 組 17 名の参加で開催。埼玉県計量検定所からは 3 名の所員の方にお越しいただき、DVD「はかる世界の大冒険」15 分視聴、ペットボトルを利用したはかりの工作 1 時間、いろいろな商品の計量 40 分で講座を行っていただきました。はかりの工作では、ペットボトルを支柱に棒をわたし左右に重りとはかるものを吊るして水平になったところに目盛りをつける作業に親子で集中して取り組んでいました。できあがったはかりで消しゴムやペンなど身の回りのものをはかったあと、計量所で使っている精密な秤で計量し、重量がかわらないことに満足げな子どもたちでした。休み時間には、計量所から持ってきていただいた各種の秤に触れることもでき、子どもたちは計量について興味を広げていました。参加された親子の方には、とても充実した時間になりました。
8/23 (金) ～8/24 (土)	公開確認会「なかむら農園」  	組合員 5 名（監査人 2 名含む）、役職員 12 名（監査人 2 名含む）、パルシステム連合会、ジーピーエス、生消協、他産地等、総勢 40 名の参加で 2 日間に渡り公開確認会を開催。初日は監査人で圃場、施設の視察を行い、その後一般参加者と合流してなかむら農園からのプレゼンテーションを受けました。大阪でのぶどうの歴史やなかむら農園の管理方法、作業マニュアルの説明、作業環境の整備、土づくり、地域資源の活用等、多岐にわたった説明を頂きました。その中で特に種なし処理（ジベレリン処理）についてはとても大変な作業で管理も難しいものだと感じました。デラウェアは当たり前に種無しだと思っていましたが生産者のご苦労の上に成り立っているのだと改めて知ることが出来ました。2 日目は全員で圃場の視察、選果場の見学を行いました。圃場は山の中腹になり、山の斜面に合わせてそれぞれのビニールハウスが作られており、初めて見る光景でした。最期にまとめを行い終了となりましたが公開確認会に参加できる組合員、職員は限られていますので今回の公開確認会で学んだ事をより多くの組合員に伝えていくことが重要となります。
9/9 (月)	「寄贈品に関する合意書」締結式 	生活困窮世帯の子どもたちに支援を行う団体へ定期的に青果を寄贈するための合意書締結式を行い、第 1 回目の寄贈を行いました。寄贈される野菜は、パルシステム組合員に供給する青果で、事業上やむを得ず発生する余剰青果が対象となります。寄贈先は「一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク」と「埼玉県子ども食堂ネットワーク」の 2 団体となり、食品ロスの軽減と埼玉県内の子ども食堂への食材提供などに役立てれます。今回の寄贈にあたり、両団体との調整をいただいた、埼玉県福祉部の内田様からご挨拶をいただきました。続いて、各団体の代表者より取り組み紹介と合意書の調印が交わされました。締結式の後、実際の受渡手順の確認と今後の意見交換が交わされ、1 回目の寄贈が終了しました。今後も定期的に野菜の寄贈を行い、各団体と連携を深めながら地域や子どもたちに寄り添う活動に取り組んでまいります。
9/21 (土) ～9/22 (日)	南三陸スタディーツアー 	東日本大震災から 8 年が経過する中、現地状況の理解と震災の風化防止を目的に『あの時を知り、いまを見る』をテーマに「行って、視て、知る・感じる」ために、組合員 21 名と役職員 6 名の合計 27 名が宮城県南三陸町へ訪問。「旧大川小学校」「旧戸倉中学校」「高野会館」では、当時の状況について語り部の方よりお話をいただきました。「菅原水産」「たみこの海パック」では、漁業の状況、起業への思いについて伺いました。自然災害の恐ろしさや悲しみを体感するとともにこ

		れからの南三陸町をどんな街にしていくのか、生活を立て直す中での課題等、復興への取り組みをつうじて、自らが行える復興支援や防災について参加者全員で実感しました。参加者からは「ぜひ多くの方に実際に目で見て欲しい」「出来る限りの備え、心構えを忘れずに生きていきます」など多くの感想をいただきました。
9/30 (月)	フレイル予防～健康管理～ 	医療生協さいたまと共催で、今年度3回目となるフレイル予防企画を開催し、医療生協のサポーターの方を含め25名が参加しました。今回の座学テーマは「健康管理」で、浦和民主診療所の看護師に健康診断の重要性として、血液検査・心電図・大腸がん検診等、各検査項目の目的や受診のポイント、そして結果の見方について分かりやすく教えていただきました。胃がん検診はバリウムより胃カメラがおすすめだそうです。座学後は、埼玉協同病院リハビリテーション技術科で作られた「いつでもどこでも体操」を行いました。また今回は医療生協さいたまのサポーター6名がお手伝いに来てくださり、ジャンケンなど簡単で楽しい脳トレをやりました。最後は、グループで健康に関するトークなどをして終わりました。

(2) 社会貢献やCSR活動等

1. ぱる★てらす「親子ふれあいサロン」毎週金曜日に開催

(2018年度：開催50回 延べ参加1,231名 2017年度：開催51回 延べ参加654名)

4月～10月11日 開催28回 延べ参加581名

2. いきいきネットワーク

(2018年度：活動時間5,287.5時間 2017年度：活動時間5,088時間)

4月～8月 活動時間2,033時間 前年比89.7%

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

(4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
10/22	商品展示会 2019 in さいたまスーパーアリーナ	商品展示会
10/25	「生協とは」学習会	講演会
11/7	ひきこもり勉強会～家族の立場から～	学習会
11/8	全国の産地から大集合！「青年農業者交流会」	生産者、組合員交流会

(5) 組合員拡大 9月末日現在 ※（）内 予算比

9月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
2,590 (95.8%)	1,707 (104.6%)	883 (95.7%)	15,511 (100.2%)	10,896 (97.2%)	4,644 (108.0%)	206,749

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

テーマ委員会数	5	テーマグループ数	14
地区会数	25	エリア委員会数	4
サークル数	59 (46/13)	委員数	233

2. 事業報告

9月度		4月より累計	
受注高	前年比	事業高	前年比
2,135,727千円	104.1%	14,684,805千円	100.0%

以上

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連御中）

9～10月度報告

生協名	生活クラブ生協
報告者	事務局 中村泰介

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（ 9～10月 ）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
9/14	さんとめどんぐり村 秋野菜の種まき&夏野菜収穫& 草取り	8月下旬から9月にかけて、夏野菜の片づけとともに、 秋冬野菜の準備を行う時期です。
9/21	食と環境カレッジ 2019 パタゴニアが「生活クラブでん き」を選んだわけ	埼玉本部。事業所の電力を「生活クラブでんき」に切り 替えたことを公式発表したアウトドアグッズ大手パタゴ ニア。生活クラブを選択した理由は？その理念、活動の 実際は？パタゴニア日本支社の方をお呼びして伺いまし た。
9/21 22	石場建て構法による薪棚づくり 体験	（秩父市民参加型伐採プロジェクト協議会共催）生活ク ラブ埼玉では学習会などを通して埼玉県民の水源地林で ある秩父の森の実態を知りました。今回は、二日間のイベ ントを通して木に触れ、ものを作る楽しさを学び味わい ましょう。
9/28	デポー出店記念 まるごと試食会 LOVE フェス 2019	さいたま新都心けやき広場にて。1,150 名来場。新規加 入 25 名。20 の生産者、ミニデポー（販売コーナー）な ど、大変盛り上がりました。
10/5	はにゅう・米づくり体験交流 2019 第 4 回 稲刈り体験	はにゅう米は、8 名の生産者で作っています。2019 年 度は、無農薬実験米の生産者が 5 人から 6 人に増えまし た。参加者 33 名で体験交流を行いました。
10/5	デポー市	デポー建設予定地（浦和駅徒歩 9 分・調神社前）で、組 合員とともに、展示販売会を開催。当日は 12 名の加入が ありました。
10/18	食と環境カレッジ 2019 ゲノム編集&タネのこと	埼玉本部。スッキリ！しっかり！かわりたい。遺伝子操 作の技術利用の問題点。基本と最新情報を学びます。ド キュメンタリー映画「遺伝子組み換えルーレット」など の日本語版企画・監訳者である印鑰（いんやく）智哉さ んを招きます。

(2) 社会貢献やCSR活動等

- ・若者おうえん基金カンパ（首都圏若者サポートネットワーク）
- ・古着を送り、パキスタンの学校教育に貢献（JFSA）
- ・ヒバクシャ国際署名
- ・ゲノム編集食品の規制と表示を求める署名活動（環境影響評価、安全審査、表示義務を求める）

(3) 組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

特になし

4) 今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
10/29	水のトラスト地に行ってみよう！	秩父、両神山のふもと、会所付近のトラスト地。生活クラブは2004年から長年秩父の森にかかわってきました。組合員がトラスト活動に協力した場所に訪問します。
11/2	秩父の森で親子で体験 木こりといっしょに薪割りワーク ショップ	埼玉県飲料水源である秩父の森を守る活動で自然環境と文化を次世代に継承することを目指しています。（秩父市民参加型伐採プロジェクト協議会共催）今回は、秩父で間伐体験。
11/16	さんとめどんぐり村 秋まつり	三富の地域の人たちへの周知と交流、組合員、員外の交流を目的に2016年度より秋祭りを開催してきました。今年度は、どんぐり村近くの雑木林で開催します。

(5) 組合員拡大 9月 30日現在

9月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	
194	217	-23	1336	1510	-189	32,169

(6) 組合員組織状況（各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください）

班数	790	サークル数	連：341
専門委員会数（本部）	24	グループ数	
支部・運営委員会数	55 支部	支部・運営委員数	

2. 事業報告

8月度		4月より累計	
事業高	前年比	事業高	前年比
590,230 千円	92.02%	3,697,810 千円	97.92%

埼 玉 単協活動報告（2019年8月1日）

報告者：相沢

* 生活クラブ連合会 組織活動推進会議資料（組合員理事参加）

* 単協で作成した、拡大・運動テーマでのチラシや資料も同時にお寄せ下さい。

【組織・拡大・広報活動】

7月加入目標 328 実績:231 脱退 228 差引+3

4月～7月実績

2019年度	加入計画	実績	差し引き	脱退計画	実績	差し引き
4月	370	218	▲152	227	261	▲34
5月	367	238	▲129	207	210	▲3
6月	374	302	▲72	253	336	▲83
7月	328	231	▲97	208	228	▲20
	1439	989	▲450	895	1035	▲140

計画に対して 加入 69% 脱退 116%

2014年から2019年の加入数を比較すると2019年度は4月から7月まで過去5年間で最低の加入数でした。また脱退数も4月から7月の4ヶ月で最も多い脱退数でした。問い合わせ・紹介加入率はどの年度もほぼ変わりませんでしたが、問い合わせ数・紹介者数が累計で2019年度は最も少ない数字になりました。新聞折込数は2017年度とほぼ同じ枚数でした。

組織・拡大・ピオサポなど

- ・7/27 さいたまアリーナまみたんイベント 後追い7件
- ・新座支部で食育講座開催 員外7名参加
- ・かしの木幼稚園の食育講座で3名加入
- ・ショッパ（地域新聞）と国税調査からの折り込みを絞って対応していく。

デポー関連

- ・浦和西エリアで物件が決まりそう。デポー紹介10件
- ・西武線エリアでは組合員訪問を実施するなどしてデポーファンクラブに350名の登録があった。（目標260）

狭山：桃で繋がるキャンペーン、組合員の集まるところに職員がおじゃまする「ちょこっとおじゃまします」、組合員が自宅で行う「プチパーティー」を開催中

所沢：ふじみ野キャラバン、イベントを行う周辺に「カモメタウン」を行う、郵便局キャラバンを行う予定。

川口：デポーキャラバン・紹介、マンションイベント、生産者でキャラバン予定、

	<p>越谷:草加親子フェスタ、時短ランチの会、メゾンまつり、紹介キャンペーン、戸別訪問を行う予定、</p> <p>大宮:紹介キャンペーン、マンションキャラバン、組合員宅でのキャラバン予定</p> <p>熊谷:シャルフ籠原食育講座、ミルク教室、小川オーガニックフェスタ、小川ワインまつり、FM 熊谷に CM 依頼予定</p>
その他(全体で共有したい事)	
* 上記における課題や解決のため他単協に聞きたいこと	
【運動関連テーマ】	
NON-GMO	
生物多様性、NON-GMO 活動	<p>・ゲノム編集食品の規制と表示を求める請願活動への参加を呼びかけていく。目標6000筆</p> <p>・ゲノム編集技術に関する2点のパブリックコメントを提出した。</p>
その他(全体で共有したい事)	
脱原発運動・復興支援関係	
政府・行政への働きかけ、単協企画・集会の情報共有、他団体との連携など	
その他(全体で共有したい事)	<p>・7/26～7/28 リフレッシュツアー開催。</p> <p>福島から4家族(大人4名、子ども7名)の参加があった。</p>
サステナブル活動	
省エネ、グリーンシステム関連活動	7/8～7/29 の電気の契約者の 14/24 名がでんきキャンペーンの DM をお送りした方でした。
その他(全体で共有したい事)	
その他活動	
上記にあてはまらない活動、単協独自活動	<p>・8/25に投開票される、埼玉県知事選の立候補者に対して政策提案と公開質問を行った。8/1公開。</p> <p>・7/16 狭山ブロックで映画「最後の一滴まで ヨーロッパ水戦争」の上映と元埼玉県環境アドバイザー上領園子氏の講演が行われた。37名参加。参加者の各自治体での水道状況を調査することとした。(下水道事業、水質、今後の民営化について)</p> <p>・7/27 食と環境カレッジ2019「2030 SDGsカードゲーム」が埼玉本部で実施された。</p> <p>20名参加 内員外5名(小学5年生2名参加)</p>
* 運動関連テーマにおける課題や解決のため他単協に聞きたいこと	

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

9～10月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等

生協名	埼玉県労働者共済生協
報告者	塩崎 輝幸

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
9月26日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	<p><主な議題></p> <p>1. 報告事項（理事会）</p> <p>(1) 総合（慶弔）共済事業状況について</p> <p>(2) 二項組合員の承認について</p> <p>(3) 日本再共済連 2018 年度出資配当について</p> <p>(4) 総合（慶弔）共済事業規約の一部改正に関わる認可取得について</p> <p>(5) 理事の退任について</p> <p>2. 報告事項（代表委員会）</p> <p>(1) 2019 年 8 月末事業推進活動状況について</p> <p>(2) 2019 年度 関東統括本部・埼玉推進本部 推進活動計画 進捗報告（2019 年 6 月～2019 年 8 月）</p> <p>(3) 「ろうきんローン専用住まいる共済」推進強化月間（2019 年 9 月～10 月）の取り組みについて</p> <p>(4) 2019 年度 こくみん共済 coop<全労済>セミナー開催報告</p> <p>(5) レインボー・バトン運動「東京マラソン 2020」出走者確定報告</p> <p>(6) 2019 年度「生活保障プランナー フォローアップセミナー」開催報告について</p> <p>(7) 第 3 回代表委員会の開催概要について</p> <p>2. その他</p> <p>(1) ともにつくるゆめ基金（案）について</p> <p>(2) 「2019 年台風 15 号」に関する対応とお願いについて</p>
概況	<p>1. 2019 年度 事業状況について（2019 年 7 月末実績）</p> <p>2019 年 7 月末の事業状況は、総件数 1,090,649 件、総口数 148,058,645 口となりました。対期首では件数で-998 件、口数で-337,862 口となりました。</p> <p>対期首で口数が増加している共済は、火災共済（件数は減少）、自然災害共済、交通災害共済、自動車共済、自賠責共済、慶弔共済です。一方、減少している共済は、団体生命共済（件数は増加）、こくみん共済、長期系共済となっています。</p> <p>2. 2019 年度 共済金支払実績について（2019 年 7 月末実績）</p> <p>2019 年 7 月末の共済金支払実績は、2019 年度累計件数 12,531 件 累計支払金額 2,007,414,118 円となり、対前年同期比 634 件増(+5.33%) 152,435,161 円増(+8.22%)となっています。</p> <p>対前年同期比で支払額が増加している共済は、火災共済、自然災害共済、慶弔共済、団体生命共済、こくみん共済、自賠責共済、個人年金共済、終身共済となっています。一方、対前年同期比で支払額が減少している共済は、交通災害共済、自動車共済、個人長期共済、団体年金共済となっています。</p>	

3. こくみん共済 coop〈全労済〉セミナーの開催について

2019年9月11日（木）に56団体89名の参加のもと、ロイヤルパインズホテル浦和にて「こくみん

共済 coop〈全労済〉セミナー」を開催しました。

当日はアテネ五輪サッカー日本代表監督・2002 FIFA ワールドカップ日本代表コーチの山本昌邦氏を講師にお招きし、「心をつかむ人材育成術」をテーマに講演をいただきました。また、協力団体での取り組み事例報告（2団体）と地区運営委員会からの決意表明（3地区）をいただき、参加者全体で目標達成に向けた意思統一をはかりました。

4. 生活保障プランナーフォローアップセミナーの開催について

2019年9月7日（土）・14日（土）に18団体23名の参加のもと、埼玉推進本部 会議室にて「生活保障プランナー フォローアップセミナー」を開催しました。当日は、ロールプレイングによる実践も交え、組合員の保障相談に役立つ知識を習得し、相談対応のスキルアップをはかりました。

こくみん共済 coop 埼玉推進本部では「生活保障プランナー養成講座」を毎年開催し、新たな生活保障プランナーを募集しています。2019年度は2020年1月に開催を予定しておりますので、ぜひ参加をご検討ください。

5. マイカー共済・こくみん共済のキャンペーンと連動した横断旗の寄贈について

2019年1月～3月に引き続き、社会課題の解消に寄与し、安全な社会の実現を目指す取り組みとして、マイカー共済の見積もり件数1件につき横断旗1本を寄贈する活動を2019年9月より12月まで実施しています。

また、こくみん共済についても、関東統括本部域内独自の「たすけあいの輪をむすぶ 新しくなったこくみん共済キャンペーン」を同じく2019年9月～12月を展開期間として、成約数1件につき、横断旗1本の寄贈活動を実施しています。未来ある子どもたちを交通事故から守る活動へのご賛同・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

6. 「住まいる共済取り組み強化期間」の展開について

「2019年度関東統括本部・埼玉推進本部 推進活動計画」にもとづき、9月1日の防災の日を起点とし「住まいる共済取り組み強化期間」を9月～12月に展開しています。組合員の防災意識・備えの実態を調査するWEBアンケートや、契約期間中途での増額・自然災害共済の付帯を案内するツール等の新たな仕組みを活用して、いつ起きてもおかしくない自然災害への万全な備えを訴求します。

なお、「第1回労済デー」として、9月2日（月）～9月20日（金）の期間で、多くの協力団体・地区協力員の皆さまにご参加をいただき自然災害保障の必要性を訴求する宣伝行動を実施しました。

7. 2019年台風15号・17号の状況について

2019年9月8日から9日にかけて日本列島に上陸した台風15号は、関東地方を中心に大規模な被害をもたらしました。被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

この台風災害により、2019年9月25日時点での被災受付は25,000件を超え、関東統括本部域は1号災害として、全国の職員を動員した被災組合員への対応を行っています。

埼玉推進本部においても、9月18日（水）から1週間交代で職員を派遣し、共済金の支払いに向けた被害調査を行っています。

こくみん共済 coop では、被災された組合員の皆さまへの対応を最優先事項と位置づけ、総力をあげてお見舞い活動（被害確認活動）および共済金お支払い活動を進めております。協力団体の皆さま方におかれましては、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

<被災受付状況>

※10月10日現在

発災時期	災害名	被災受付件数
2019年9月	2019年台風17号	3,267件
2019年9月	2019年台風15号	28,120件(埼玉県内765件)

<埼玉推進本部からの派遣状況(11/6まで延べ40班88名を予定)>

クール	期 間	派遣人数	派遣先(拠点)	(参考)動員の全体状況
第1	9/13(金)～9/18(水)	—	—	関東統括本部から33名
第2	9/18(水)～9/25(水)	5班9名	神奈川推進本部(海老名)	全国から356名
第3	9/25(水)～10/2(水)	6班15名	神奈川推進本部(海老名) 茨城推進本部(鹿嶋)	全国から360名
第4	10/2(水)～10/9(水)	6班14名	本部(新宿) 茨城推進本部(鹿嶋)	全国から372名
第5	10/9(水)～10/16(水)	6班13名	埼玉推進本部 (与野・熊谷・川越)	全国から200名
第6 (予定)	10/16(水)～10/23(水)	6班12名	埼玉推進本部 (与野・熊谷・川越)	全国から360名
第7 (予定)	10/23(水)～10/30(水)	6班14名	本部(新宿) 茨城推進本部(鹿嶋)	全国から360名
第8 (予定)	10/30(水)～11/6(水)	5班10名	本部(新宿) 茨城推進本部(鹿嶋)	全国から360名

(2) 社会貢献やCSR活動等

--

(3) 組織運営上の政策検討事項等(組織の変更・新設関連の検討状況)

--

(4) 今後の主な活動予定(次回の活動委員会迄)

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
11月29日	埼玉労済理事会および全労済埼玉推進本部代表委員会	

(5) 組合員拡大 月 日現在

月度(人)			4月からの累計(人)			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数	
支部・運営委員会数		支部・運営員数	

2. 事業報告(慶弔共済)

2019年5月末累計		2019年7月末累計	
件数	口数	件数	口数
63,490	237,755	63,866	240,287
		376 件増	2,532 口増

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

10 月度

生協名	東都生協
報告者	荒井 伸幸

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（9月～10月12日）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など
7月～10月	2019 年度総代選出 (599 人) ※定数 600	8/19 週 総代選挙公示配布 9/6 立候補用紙請求締め切り 9/16～20 立候補者の確認・当選人確定 定数内の選挙区全員当選、総代確定 10/7 週 当選総代公示配布
9/9(月)～ 10(火)	2019 年度地域コーディネーター追加 説明・面接会 (3 会場)	場所：東都生協さんぽんすぎセンター、阿佐谷地域区民センター 応募 12 人 説明・面接会参加 7 人 採用 5 人 任期：10 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
9/18(水)・ 20(金)	2019 年度地域コーディネーター追加研修	場所：東都生協さんぽんすぎセンター 生協とは、東都生協とは、東都生協のこだわり、東都生協の組合員活動、地域コーディネーターの活動、組合員組織・活動、地域コーディネーターの役割、地域委員会のきまり、各種ルールなど
9/20(金)	学習会『2030 年の子どもたちへの贈りもの～わたしたちができる SDG's～』	場所：東京都消費生活総合センター 講演とワークショップ 参加 28 人 講師：高橋朝美氏（一般社団法人環境パートナーシップ会議）
9/26(木)、 27(金)	正副ブロック委員長交流会	場所：文京区民センター、さんぽんすぎセンター 参加：委員長 34 人、副委員長 18 人、委員 3 人、地域コーディネーター 19 人、理事 16 人 グループ交流（ブロック自慢の企画など） グループ交流（よりよいブロック委員会活動を目指して）
10/12(土)	食の未来づくりフェスタ 2019	場所：TOC 五反田ビル 13 階 台風 19 号の影響により開催中止

(2) 社会貢献やCSR活動等

【署名】

- ・『ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名』
7,761 筆（累計 28,794 筆）（9 月末現在）
- ・『すべてのゲノム編集食品の規制と表示を求めます署名』 2,844 筆（10 月 4 日現在）

【募金】

- ◇2019 年度東日本大震災支援募金状況（9 月 6 日現在）
 - ・組合員募金 3,822,241 円（うち、2019 年度 622,200 円）
 - ・1 点 1 円募金 1,322,339 円（うち、2019 年度 12,868 円）
- ◇未来につなぐ募金状況（9/6 日現在）
 - ・6,371,777 円（うち、2019 年度 1,657,400 円）
- ◇台風 15 号被害に伴う産地・メーカー支援募金 ●●●円

【東都生協「未来につなぐ募金」2020 年度助成事業】について

- ・助成の上限額：1 団体あたり 10 万円（税込金額）
- ・助成団体数：2020 年 1 月 6 日の振替後に確定

【フードドライブ予定】

- ・NPO 法人フードバンク八王子えがお（2 回目）
- ・NPO 法人フードバンク狛江（2 回目）
- ・フードバンク調布（2 回目）
- ・NPO 法人シェア・マインド（1 回目）

【るんるんズカフェボランティアスタッフ企画（新規）】

- ・企画名：おとな食堂（仮称）オープニングスタッフ食事会
- ・日時・会場：10/21(月)13:00～16:00 さんぽんすぎセンター

- ・広報：10/7(月)～11(金)配付健康体操チラシ裏面
- ・11月以降開催予定：11/11(月)、12/9(月)

【中央労働金庫世田谷支店との連携企画（新規企画）】

- ・企画名：資産形成はじめてセミナー
- ・日時・会場：10/7(月)13:30～14:30 さんぼんすぎセンター

【ハンガー・フリー・ワールド（書損じハガキなど回収キャンペーン）】1/21～5/31で募集

- ・参加件数：3,012件（前年：2,868件）
- ・封筒配布数に対する返信率（参加率）2.26%（前年：2.16%）
- ・金額：5,956,177円（前年：5,568,898円）
- ・内訳：きょうされん（書損じハガキ）2,207,417円（前年：1,748,505円）
ハンガー・フリー・ワールド 3,748,760円（前年：3,820,393円）

（３）組織運営上の政策検討事項等（組織の変更・新設関連の検討状況）

<ul style="list-style-type: none"> ・第9次中期計画延長 ・基幹システム刷新 ・総代の定数削減の検討 ・東京南部生協との組織合同に向けた論議中
--

（４）今後の主な活動予定（次回の活動委員会迄）

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等
10/8(火)～	総代オリエンテーション	9地域・20会場 総代のてびきに沿った説明、試食など
10/22(火)	学習会「ゲノム編集について学ぼう」	場所：新宿農協会館 講師：河田昌東氏
10/23(水)	ピースアクション東京戦跡めぐり	新宿戸山～早稲田コース 高田馬場～戸山公園～学習院女子大学正門～陸軍戸山学校将校集会所跡～箱根山～国立感染症研究所内（納骨施設）～感通寺～早稲田中学・高等学校内（いのりの碑）
10/26(土)	杉並センター産直まつり	場所：東都生協杉並センター 20以上の団体が出展
11/16(土)	八千代牛乳のふるさと牧場へ「もーもータオルを届けよう」	訪問先：千葉北部酪農協同組合 鈴木牧場 搾乳に使うタオルを組合員から募ったものを贈呈
11/20(水)、 22(金)	秋の活動報告と活動方針づくり	場所：さんぼんすぎセンター、東京都生協連会館 上半期の振り返り、次年度の活動方針づくりに向けて
11/29(金) ～12/2(火)	第1回総代会議	5日間・11会場 総代会で決めた方針に基づく中間報告と次年度の方針作りに向けた論議
12/9(月)	2020年度地域コーディネーター説明会	場所：東京都消費生活総合センター 2020年度活動参画予定者への説明会
12/10、12、 14(土～)	後期ブロック会計学習会	場所：東京都消費生活総合センター、国分寺労政会館他 2019年度収支報告書の作成に向け、会計処理の方法やルールについて学習、確認する

（５）組合員拡大 8月20日現在

	8月度（単月）					年間（累計）				
	実績	予算比	前年比	予算数値	前年	実績	予算比	前年比	予算数値	前年
センター加入総体	980	65.8%	68.3%	1,490	1,434	7,513	84.7%	83.9%	8,872	8,958
We b加入システム	54	108.0%	125.6%	50	43	283	88.4%	148.9%	320	190
他部署加入受付	0	—	—	—	0	0	—	—	0	0
無店舗加入合計	1,034	67.1%	70.0%	1,540	1,477	7,796	84.8%	85.2%	9,192	9,148
都内	803	—	74.8%	—	1,074	5,991	—	88.7%	—	6,753
都外	231	—	57.3%	—	403	1,805	—	75.4%	—	2,395
都外内訳										
埼玉県	34	—	27.0%	—	126	512	—	95.2%	—	538
神奈川県	175	—	66.5%	—	263	1,143	—	66.0%	—	1,732
千葉県	22	—	157.1%	—	14	150	—	120.0%	—	125
員外	6	—	600.0%	—	1	29	—	60.4%	—	48
脱退	1,201	114.4%	101.8%	1,050	1,180	6,531	109.8%	104.6%	5,950	6,246
純増	-167	-34.1%	-56.2%	490	297	1,265	39.0%	43.6%	3,242	2,902

組合員数	単月	前年比	累計	前年比	出資金総額	前年比
7月20日	248,459人	102.0%			6,548,026千円	98.7%
加入	1,028人	69.6%	7,767人	85.2%	1人あたり出資金額	95.9%
脱退	1,203人	101.6%	6,514人	104.1%		
純増	-175人	-59.7%	1,253人	43.9%		
8月20日	248,284人	101.8%				

(6) 組合員組織状況(各単協に合わせて、名称等変更してご記入ください)

地域	9	保育ママ	87人
ブロック委員会数	110/550人	東都人材バンク講師	37人
とーと会数	76団体492人	ブロックサポーター	250人
サークル数	21団体89人		

(7) 都外組合員人数(8月20日現在)

埼玉県	5,495
神奈川県	14,341
千葉県	1,404
総計	21,240

2. 8月度決算

区 分	単 月			累 計		
	実績	前年比	予算比	実績	前年比	予算比
供給高	2,390,468	101.6%	96.7%	12,394,319	96.7%	97.3%
その他事業収入	62,242	105.8%	111.6%	309,002	101.9%	103.5%
総事業高	2,452,710	101.7%	97.1%	12,703,320	96.9%	97.4%
事業総剰余金	630,369	100.2%	96.3%	3,295,643	96.6%	97.0%
事業経費合計	715,195	102.3%	100.6%	3,599,684	99.6%	99.0%
人件費	340,653	99.1%	101.9%	1,713,490	99.3%	100.8%
物件費	374,541	105.4%	99.5%	1,886,194	99.8%	97.5%
経常剰余金	▲ 55,315	108.4%	154.0%	▲ 173,228	239.3%	159.6%
稼働日数	22日	(前年=21日)		109日	(前年=109日)	

※百円単位で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(実績の単位:千円)

事業別供給高

区 分			実績	前年比	予算比	コ メ ン ト
共同購入事業	供給高	単月	2,336,759	101.3%	96.6%	一人当たり平均利用高は前年比・予算比共に大きく割り込みました。 利用人数については新規組合員拡大が苦戦している影響で、累計前年比で割り込んでいます。
		累計	12,106,501	96.5%	97.2%	
	一人あたり平均利用高	単月	5,299	97.8%	88.8%	
		累計	5,374	97.5%	96.7%	
弁当配食事業	利用人数	単月	441,017	103.5%	108.8%	前年比で15%以上伸長しているものの、計画(予算)には届いていません。
		累計	2,252,806	99.0%	100.5%	
	供給高	単月	22,487	117.8%	91.9%	
		累計	119,569	112.2%	95.1%	
生活文化事業	供給高	単月	26,568	122.1%	123.7%	8月度は、チケット事業その他サービスともに予算を超過しました。 (剰余高予算比118%)。
		累計	139,970	104.5%	106.3%	
生活支援事業	供給高	単月	4,654	83.8%	77.2%	8月度単月の供給高は予算比77%、前年比83%と前月に引き続き落ち込みました。 (6月・7月の低温が受注件数に影響しました)
		累計	28,278	95.4%	94.2%	

配食事業 8 月度

		8 月度単月			2019 年度累計 (4 月～8 月度)		
		実績 (千円)	予算比	前年比	実績 (千円)	予算比	前年比
供給高	弁当	4,149	87.9%	112.0%	21,957	90.4%	103.8%
	おかず	11,395	91.4%	117.8%	60,792	95.3%	111.9%
	国産応援ご膳	6,662	94.0%	116.7%	35,584	97.5%	114.3%
	冷凍弁当	281	133.2%	0.0%	1,236	107.7%	0.0%
	合計	22,487	91.9%	117.8%	119,569	95.1%	112.2%
配食数	弁当	7,713	88.0%	112.0%	40,814	90.4%	103.8%
	おかず	21,181	92.4%	117.7%	112,996	96.0%	111.9%
	国産応援ご膳	9,493	94.0%	116.7%	50,695	97.9%	114.3%
	冷凍弁当	203	133.6%	0.0%	893	107.7%	0.0%
	合計	38,590	92.0%	116.9%	205,398	95.4%	111.2%
延べ登録人数		158,125	102.3%	133.2%	797,110	96.5%	122.7%
延べ利用人数		29,173	91.5%	116.3%	153,708	90.4%	105.5%
稼働日		20	100.0%	111.1%	103	100.0%	102.0%
1 日当配食数		1,930	92.0%	105.2%	1,994	95.4%	109.1%